

# 未来を拓く科学大好き教育 通信

郷土博物館 特別研究員

指導課 特別指導員

岩波 英一

## 「理科室のおじさん」を訪ねて

日立理科クラブ・太田二郎さん



### その14 日立市立金沢小学校

金沢小学校の「理科室のおじさん」太田二郎さんを訪ねました。理科室に入ると、たくさんの昆虫や鳥の写真が展示されています。まるで、昆虫博物館のようです。金沢小学校の校庭や校舎の周りにいた昆虫類が、見事なシャッターチャンスを生かした姿で撮られています。また、校庭の木々にも、写真入りで樹木の説明がある標識が取り付けられており、子どもたちが樹木の名前を自然に覚えることができるようになっています。

さて、「理科室のおじさん」の太田二郎さんは、長野県の松本市出身で、日製の日立工場に就職して、水力発電関連の仕事に従事していました。「長野県松本は、冬は厳しい環境ですが、小中学生の頃、楽しみの一つに、氷結した美鈴湖で下駄スケートをしたことが忘れられないですね。その湖では、ワカサギ釣りもできるんですよ。」と、思い出して楽しそうに話をしていました。また、高校時代は、映画研究クラブに属し、昭和30年代の西部劇や映画音楽に興味があり、夢中になっていたことをなつかしんでいました。最近では、お孫さんのダンス(日立舞踊り)の場面を写真にすることを、趣味として楽しんでいるとのこと。



手軽にできる実験装置



理科室の整理棚のケースに実験器具のネームプレートを作って分類するなど、日曜大工が得意だという太田さんの特技を生かした工夫がなされていました。太田さんが最初に理科室で取り組んだのは、準備室の机に化粧ベニヤを使ってリニューアルしたことです。とても使いやすいきれいな環境になっていました。昼休み等に理科室にやってくる子どもたちのために、手軽に実験できるような装置をたくさん準備して、子どもたちの活動の場を広げています。子どもたちに人気のある面白い装置が取り揃えられていました。「何か子どもたちのためにできないかということを考えるのが好きで、家庭でもよくいろいろなものを作っていますよ。」と、にこやかに話をしていました。太田さんにとって、「理科室のおじさん」としての活動は、とても楽しいし、やりがいがあり、かけがえのない時間になっているようです。理科室が、子どもたちにとってとても興味や関心をもてる場になっていると感じました。



— 問い合わせ先 —

TEL 0294(23)3231 FAX 0294(23)3230

IP 電話 050(5528)4928 内線電話 8954

E-mail:hakubutsukan1@city.hitachi.lg.jp

日立市郷土博物館 岩波 英一